

幼稚園の 子どもたち



かぞくで はなびを みにいったよ。まっくらな おそらに おおきな はなびが そらいっぱい ひろがって みんなが えがおに なったよ。また、おおきな はなびを みにいきたいな。

▲ かわはら めぐみさん (有松幼稚園 年長5歳)

※図画作品の年齢は制作当時のものです。

●年間テーマ「親学ノススメ」 ●今号テーマ「心と心をつなぐあいさつ」

親学 ノススメ

～家庭と園がつくる「あいさつ」～

愛知教育大学 教授 小川 英彦

「ありがとう」という気持ちを伝える言葉が自ら出る子どももいれば、親から何度か促されても言えない子どももいます。また、親から叱られ諭されても「ごめんなさい」と言えない子がいる一方で、自分のせいで傷つけたと思った瞬間に相手に駆け寄り、「ごめんね」を繰り返しながら、心配そうに顔をのぞき込む子どももいます。「ありがとう」「ごめんなさい」もあいさつのひとつとしてとても大切な言葉です。本号では、心と心をつなぐあいさつについて考えてみましょう。

子どもが自然に口にできるかどうか、家庭環境によるところが大きいと考えられます。昔は、3世代家族が多かったため、子どもたちは、親と祖父母が仲良くあいさつを交わしている姿を目にし、あいさつすると気持ちがいいなという思いが自然に身に付いたものです。しかしながら、現代の核家族化によって、子どもたちは日常的に親が祖父母とあいさつを交わすという光景を目にし

なくなりました。ですから、余計に親子間、近所の方とも、元気に笑顔であいさつするよう、心掛けなければなりません。

言葉を生み出す重要な要因に、発達初期に親子の間で愛着関係が形成される必要があると言われています。信頼できる他者と楽しみや喜びを共有し、そこから生まれる安定した関係において、互いに関心を向け、相手の心に敏感に反応するようになります。

子どもは、親や先生と快いあいさつを繰り返すことで、人とかかわりに安心感を覚えます。「おはよう」のように快く一日の始まりを受け入れてもらえることに喜びを感じ、ここちよく一日をスタートできます。あいさつを毎日しっかりと行っている子どもは、他人との関係を上手く築くことができる基礎力が育っていきます。あいさつは心を育てる非常に大切なものなのです。

家庭の日 図画作品



かぞくで ぶーるに いったよ。ほんとに ばばは なんかいもすらいだーを すべったよ。ままは したから てをふっていたよ。ぶーるの みずは みずいろだったよ。また いきたいな。

▲ いわぶち ゆうまさん (神の倉幼稚園 年長5歳)



ばばと ままと りょうくと わたしで さかなつりをしたよ。さわれなかったけど たのしかったよ。さかなつりのあとは、ばばが やいてくれたよ。おいしかった。また いきたいな。

▲ さとう かれんさん (猪高幼稚園 年中4歳)

※図画作品の年齢は制作当時のものです。

「園長先生、おはようございます。」

名古屋市立植田幼稚園長
鈴木 勝博

園長となり3年目を迎えますが、毎朝の楽しみは、登園してくる子どもたちとのあいさつです。

今日はどんな顔をして登園してくるのかなと思いつかべながら立っていると、お母さんと一緒にAさんがやって来ました。Aさんは、立ち止まってきちんとお辞儀をしながら「園長先生、おはようございます。」と言いました。すると、その横を「おはようございます。」と言いながらBさんが走り抜けて行きます。「おはようございます。きちんとあいさつができて、立派だね。」「おはよう。今日も元気だね。」と二人に声をかけると、二人ともにっこり笑顔です。

しばらくして、お母さんの後ろに隠れながらやって来たのは年少組のCさんです。今日も「おはようございます。」の一言が言えず、お母さんの表情も冴えませんが、「Cちゃん、おはよう。」と言いながらCさんを抱きかかえると、Cさんは恥ずかしそうにしながらも、にこっとします。今のCさんにとって、このかわりは毎朝の楽しみの一つなのでしょう。

どの子ども幼稚園で楽しく過ごしてほしいという願いのもと、幼稚園での一日の始まりである登園時のかかわりを大切に考え、このような様子で、毎朝、全員の子どもとあいさつをしています。

小学校入学前の子どもたちは、その時の体調や気分をストレートに出します。ですから、朝のあいさつをする様子で、子どもたちのその日の体調や状態が分かってきます。さらに、登園時に付き添っている保護者の方からの情報。これにより、「なるほど。そういうわけで…」と、その子への対応も分かってきます。

毎朝、わずか20分ほどのことですが、園長としてとても大切な時間です。年間200日ほどの通園日。毎日続けることで、子どもの成長も感じ取ることができ、ついつい顔がほころんでしまうひとときです。



毎日の生活から学ぶありがたいの気持ち

名古屋あかつき幼稚園保護者
岩本 淳子

我が子が通う園での朝の登園時や、帰りの時間にはほぼ毎日、園長先生が出迎えて下さいます。「おはようございます。」「さようなら。」のあいさつと共にして下さる“ハイタッチ”。ほぼ全員の子どもとタッチをして下さるだけでなく、小さな弟、妹にまで手をのばして下さいます。そんな園長先生とのコミュニケーションが子どもたちは大好きで、いつもハイタッチを待つ行列ができています。こうした毎日の小さな積み重ねが、子どもにとってあいさつって楽しいんだなあという気持ちにつながり、自然とあいさつができる子どもへとつなげて下さっているように思います。

お昼の時間には、毎日給食をいただいています。“リーダーさん”と呼ばれるその日の当番の子どもたちが、先生のお手伝いをし、給食の準備ができたならみんなでお弁当の歌を歌います。そしてその後、合掌をして、「お父様、お母様、おいしいお弁当をありがとうございます。よくかんで、こぼさないように、

残さないように、きれいにいただきます。」とのごあいさつをします。私がこの言葉を初めて聞いたのは、給食試食会の時でした。このごあいさつは今でも忘れられない言葉であり、子どもたちが、命をいただくことに感謝をするだけでなく、両親への感謝の気持ちも教わっているのだと、深く感動しました。

先生方だけでなく、通園バスの運転手さんにも声を掛けていただいている子どもたち。年少の時は、帰りのバスでは疲れて眠ってしまっていた我が子も、年長となった今では、「ありがとうございます。」と降車時にあいさつをしている姿が見られます。そんな感謝の気持ちを伝えている我が子の姿に成長を感じています。

子どもたちは、毎日の生活から他人に感謝する心を教わっています。子どもたちが、こんな素敵な先生方に囲まれて幼稚園生活が送れていることに、私自身、日々感謝しています。

「子育てQ&A」



家族とあいさつすることはできるのですが、家族以外の人とは、恥ずかしがってあいさつすることができません。どのようにしたらよいのでしょうか。

A

あいさつには、「人に会ったときに交わす儀礼的な言葉」という意味があります。ですから、保護者としてお子さんには、家族はもちろん、ご近所の方、ご親戚の方、幼稚園の先生や友達、友達のおうちの方などと気持ちよくあいさつを交わすことができるようになってほしいと願うものです。それなのにお子さんが登園時に園の先生にあいさつができずにいたらどうでしょう。「どうしてうちの子はあいさつができないのだろう」と悩み、あいさつしないお子さんをつい叱ったり、「あいさつしなさい」と無理強いしたりしてしまうこともあるのではないのでしょうか。ですが、幼児期には、あいさつの形よりも、あいさつすることのこころよさを伝えたいものです。

そこで、保護者の方が先生に心を開いてあいさつをして、お子さんの手本になってください。保護者の方が心を開く姿を見て初めて、お子さんは、門に立つ先生を「安心

できる人」ととらえるようになります。すると、お子さんたちは「おはよう」を態度で表すようになります。入園当初は恥ずかしがって保護者の方の後ろに隠れて目を合わせなかったお子さんが、ちらちらと先生を見るようになります。また、先生に「おはよう」とあいさつされて、にこっと微笑んだり、わざと目をそらしたりします。これらは、その子が態度で表している「おはよう」です。園の先生はそれに気付き、必ず受け止めてくださっています。一人一人のお子さんによって、先生に心を開き、言葉であいさつできるようになるまでの時間は異なりますが、園の先生とともに、お子さんがあいさつすることのこころよさを感じることができるよう、支えていきたいものです。「おはよう」「こんにちは」「ありがとう」……子どもたちは愛されている安心感を基盤に、一番身近な保護者の方を手本として、こころよいあいさつを身に付けていくものです。

こんなほん あんなほん

「～はじめまして！ 新たな出会い～」

◎ コラム ◎

絵本で広がる子どもの世界

『こんにちは』 (くまくんの絵本)

わたなべしげお／文
おおともやすお／絵
福音館書店



お花さん、すずめさん、牛乳屋さんに郵便屋さん。誰かに出会うたび、くまくんは「こんにちは」とあいさつします。他者とかかわる嬉しさが伝わってくる、1冊です。

『はじめまして！カジバンちゃん』 (ピッポちゃんのおとなりさん1)

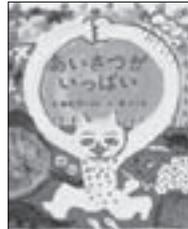
きたやまようこ／作・絵
偕成社



ピッポちゃんの隣に、ひつじの一家が引っ越してきました。「はじめまして。どうぞよろしく」のあいさつから、あたたかな交流が始まります。

『あいさつがいっぱい』

工藤直子／文
長新太／絵
小学館



あいさつをテーマにした、15編の短い詩が楽しめる絵本です。動物や虫たちの書いた詩には、元気があふれています。ユーモラスな絵も、言葉の面白さを盛り立てます。

「こんにちは」。図書館にやって来た子どもたちとのやりとりは、まずあいさつから始まります。あいさつは、社会生活の中で、気持ちのよい人間関係を築く大切な役割を果たします。

絵本の中でも、出会いや別れ、感謝や謝罪などのあいさつの場面がしばしば描かれます。あいさつを通して信頼関係を深め、成長していく子どもの姿は、実生活のそれと同じです。

あいさつによる「言葉のキャッチボール」で、コミュニケーションの力も育ちます。子どもたちが絵本の体験を自分の体験とし、人とかわる楽しさを体得しながら、自身の世界を豊かに広げてくれることを期待します。そのことが、あいさつの大切さを理解することにもつながるでしょう。

名古屋市鶴舞中央図書館
児童担当：中村・西・金子・足立

TEL:052-741-9811 FAX:052-733-6337

鶴舞中央図書館からの紹介です

「親学」の講座を配信しています。

子育てに完璧なマニュアルなどありません。子どもとともに学びあい、自らも一人の人間として成長していくことができれば、きっと素晴らしい親子関係を築くことができるのではないのでしょうか。

「親学」とは子どもにとって親はどうあるべきかを考え、子どもとともに親として成長する楽しさなどについて学ぼうというものです。ぜひ一度ご覧ください。

「親学」に関しては、「e-ねっと*なごや」ホームページをご覧ください。



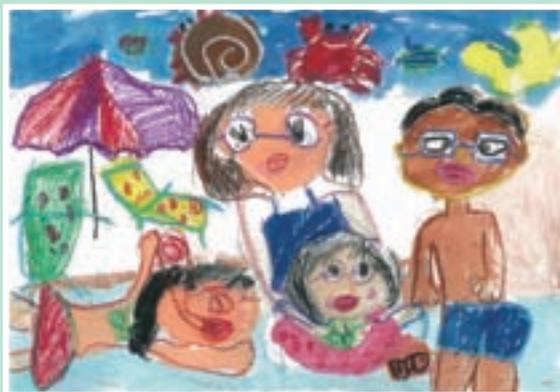
<http://www.manabu.city.nagoya.jp/>

講座の一部をご紹介します！

子どもの犯罪被害を防ぐために
 子どもの心を育み、親子のきずなを深める“読み聞かせ”
 一日のスタートは朝ごはんから
 「性」について子どもと話してみませんか
 情報化社会を生きていく力を子どもに育てる
 見直そう！子どもの生活リズム
 親子で一緒にお片づけ

子どもの『しつけ』と『虐待』
 携帯電話の安全活用 ~親子のコミュニケーションを大切に~
 育児は育自
 「あい・あい・あいさつ活動」ノススメ
 子どもの心がわかりますか ~いじめ問題を理解するために~
 ほめる・叱る ~子どもの自己肯定感を育てるために~
 親子で体を動かそう

家庭の日 図画作品



かぞくで うみで およいだよ。うみの なかを のぞいたら
 やどかりや かにを みつけたよ。すてきな いろの かいがらも
 あったよ。あつかったけど みずの なかは きもちよかったな。

▲ みずの まりさん (南山幼稚園 年長5歳)



おほんやすみ かぞくみんなで いったぶーる。みずが つめ
 たくて とても きもちよかった。みんな にこにこで たのし
 かったよ。だいすきな びんくを たくさん つかいました。

▲ たさか ゆうなさん (萩山幼稚園 年少3歳)

※図画作品の年齢は制作当時のものです。

「家庭教育相談事業」開催のお知らせ

市立幼稚園において保護者を対象に専門家による子育て相談会を開催します。ぜひお出かけください

年	月日	区	幼稚園名	電話番号
平成28年	10月17日(月)	緑区	神の倉	876-6490
	10月21日(金)	中川区	はとり	432-1221
	10月31日(月)	守山区	二城	793-3851
	10月31日(月)	名東区	梅森坂	703-6644
	11月2日(水)	西区	第三	561-2348
	11月14日(月)	東区	第一	961-5506
	11月15日(火)	北区	報徳	913-5321
	11月17日(木)	千種区	第二	731-3510
	11月24日(木)	中川区	春田	301-3610
	11月25日(金)	中川区	荒子	353-4936
	11月30日(水)	中川区	常盤	361-7133
	12月2日(金)	名東区	猪高	773-2756
	12月8日(木)	緑区	鳴子	892-2616
平成29年	12月14日(水)	北区	おりべ	914-2806
	1月17日(火)	瑞穂区	高田	871-3808
	1月19日(木)	東区	大幸	722-1546
	1月23日(月)	北区	楠西	902-2250

編集後記

保護者の皆様や編集委員の方々の協力を得て、今年度の「幼稚園の子どもたち」No.2が発行できました。

今号は、「心と心をつなぐあいさつ」をテーマに取り組みました。

私たちは、自分の気持ちを伝えるあいさつによって、お互いに親しみを深め、心と心がつながっていくのだと思います。あいさつは人と人が心を通わず第一歩と言えます。そして、そのあいさつにもう一言加えるとさらに心が通い合い、自ずとコミュニケーションが深まります。人との関わりをよりスムーズにさせるために親子で「明るいあいさつ」と「あいさつにもう一言加えるあいさつ」を心掛けてみましょう。

さて、これから秋も深まり夜寒を感じる季節となります。体調管理に心掛け、健康にお過ごしください。

保護者をはじめ編集にご協力いただいた皆様、ありがとうございました。

*ご意見ご感想をおまちしています。係までお寄せください。

- 編集/名古屋市教育委員会・名古屋市立幼稚園長会・名古屋市私立幼稚園協会
- 発行/〒460-8508 名古屋市中区三の丸三丁目1番1号 名古屋市教育委員会
- 担当/生涯学習課 社会教育係
TEL 052-972-3253 FAX 052-972-4178
電子メールアドレス
a3253@kyoiku.city.nagoya.lg.jp

この印刷物は、古紙パルプを含む再生紙を使用しています。